



Our Work ケア・インターナショナル ジャパンの活動

ケア・インターナショナル ジャパンは、世界 90ヶ国以上で人道支援活動を行う国際 NGO ケア・インターナショナルの一員です。災害時の緊急・復興支援や「女性と女子」の自立支援を通して、貧困のない社会を目指しています。特に「女子教育」「女性の経済的エンパワメント」「母子保健」の分野に注力し、最も困難な状況にある人々の自立を支援しています。

活動理念

Vision ビジョン

CARE は、貧困のない、すべての人々が尊厳をもって安心して暮らせる、希望に満ちた、寛容で公正な世界を目指します。

Mission ミッション

CARE は、人々の命を守り、貧困をなくし、公正な社会を創ることを使命とし、世界中でその実現に向けて取り組みます。

Focus フォーカス

CARE は、女性と女子を活動の中心にすえます。貧困をなくすためには、女性と女子を含むすべての人々が平等な権利や機会を得る必要があるからです。

- ケア・フレンズ岡山
(1992年設立/中島美子会長)
- ケア・フレンズ東京
(1998年設立/安倍洋子会長)
- ケア・サポーターズクラブ大分
(2005年設立/広瀬堯子会長)
- ケア・サポーターズクラブ熊本
(2006年設立/森義臣会長)
- ケア・フレンズ長野
(2009年設立/塚田稲子会長)
- ケア・サポーターズクラブ千葉
(2013年/土屋津以子会長)
- ケア・サポーターズクラブ佐賀
(2016年設立/中川原三和子会長)
- ケア・サポーターズクラブ大分「県北支部」
(2019年設立/山本たえ子会長)
- ケア・サポーターズクラブ鹿児島
(2019年設立/清川照美会長)

変える、女性も女子も活躍する豊かな世界に

ケア・インターナショナル ジャパンは、貧困の根源の解決に向け、災害時の人道支援を行うとともに、「女性と女子」に焦点をあてた活動を通して、最も困難な状況にある人々の自立を支援しています。

ケア・サポーターズクラブ佐賀へのご入会お待ちしております

■入会のご案内

1. 正会員個人 年間 12,000円 (月 1,000円)
2. 法人会員 年間 30,000円 (1口)

■口座番号

ケア・サポーターズクラブ佐賀
ゆうちょ銀行振替口座
01740-5-145473

入会のお申し込み、お問い合わせは下記事務局まで

ケア・サポーターズクラブ佐賀

〒841-0072 佐賀県鳥栖市村田町 1250-1 (真心の園内)

fax 0942-83-9239

会 長 中川原 三和子 (090-1516-4624)
事務局 長 齊藤 美代子 (080-8376-5635)



2021年9月00日発行 vol.5

Supporters Club SAGA 通信

ケア・サポーターズクラブ佐賀 会報誌

発行：ケア・サポーターズクラブ佐賀 事務局/〒841-0072 佐賀県鳥栖市村田町1250-1 (真心の園内)
tel 0942-82-2301代 fax 0942-83-9239 Mail: csc.saga20161005@gmail.com



顧問 指山 弘養様からの メツセージをもう一度!!

<会報誌 2号>より。

私達日本文化の根本思想の一つに結びということがあります。別の言い方をすれば縁という言葉です。すぐれた因がすぐれた縁ですすぐれた果を生じます。私は終戦の翌年小学校に入学しました。当時は食べる物・着る物履く物もない時代でした。昼食は弁当を持ってくる友も少なく、分け合ってたべた時もありました。白いご飯を腹一杯喰べたいというのが夢でした。

多分小学校5年の時給食が始まりました。これで皆昼食が出来ると思んだものです。先生が「これはアメリカからもらったもので栄養価が高いから感謝して頂きたい」と言われ、出てきたものがコッペパンと脱脂牛乳でした。脱脂牛乳のまずさは今でも覚えています。それでも空腹を満たすには十分です。お陰様で今の身体がある訳ですから。2年前中川原会長から CARE の話を聞き、廻ってきた縁を知りました。私達が飲んでいたミルクがアメリカ軍ではなく CARE だったのです。少数の善意溢れる人達から始まった活動は、今では支援国 80、プロジェクト数約 960、直接約 8 千万人、間接受益者約 2 億 6 千万人に及んでいます。女性をターゲットにした CARE の活動の大きさ必要さを感じます。その中でケア・インターナショナルジャパンも年々その存在感を高めています。まもなく二才を迎えるケア・サポーターズ佐賀も一段と基盤を固め上げ、多くの方々の光を浴びて健やかに育っていくことを願っています。改めてケア・サポーターズ佐賀を縁として会員相互の交流を深めながら優れた果を得よう努めたいものです。

「会報誌 NO 1 号より」タイトルはありませんが、意味深い言葉に感銘を受けました!

「会報誌 NO 3 号より」「根深ければ草枯れず」

「会報誌 NO 4 号より」「春菊の湯を通したる香りかな」

ご挨拶

ケア・サポーターズクラブ佐賀
会 長 中川原 三和子



指山弘養様を偲んで.....

平成 28 年 (2016 年) 10 月 2 日、ケア・サポーターズクラブ佐賀は、6 名の理事と 1 名の監事、そして顧問に指山弘養様をお迎えして正式に発足、ケア・インターナショナル・ジャパンの支援組織としての活動を開始いたしました。そして今年は記念すべき 5 周年に当たるのですが、昨年から新型コロナ感染拡大と、今年 5 月 31 日の指山弘養顧問の突然の訃報で、私はじめ役員・会員一同、深い悲しみと動揺の渦の中におります。

指山様は、当会の開設準備段階から関わっていただき、CARE の活動趣旨にご賛同いただくとともに、チャリティ講演会や定期例会にも欠かさずご出席され、いつも心に染み入る素敵なお言葉は、ケアの活動だけでなく、人としてあるべき姿の指針として今でも私どもに強く語りかけてくれます。当会ホームページに、これまでの会報誌も掲載されていますので、どうぞ会員の皆様におかれましても今一度お目とおしいただければ幸いです。

ここに、指山弘養様の寛大で慈愛あふれるお人柄と物事に対する誠実で深い御見識を讃え、心からご冥福をお祈り申し上げます。これまでの御指導、本当に有難うございました。

私たち、ケア・サポーターズクラブ佐賀は、CARE の精神に則り、世界で、あるいは私たちの地元佐賀での、貧困や暴力、災害や生活苦に苦しむ方々の支援、特に女性や女子の教育・自立支援を軸に活動を続けて参ります。

昨年から準備を進めていた佐賀県ふるさと寄付金ももうすぐ稼働いたします。これにより、ケア・サポーターズクラブ佐賀の活動の幅が広がり、ケア本部への支援金の枠にとどまらず、地元佐賀での活動にも役立てたいと考えております。新型コロナ拡大がいまだに出口が見えない中ですが、どんなに小さな一歩でも前に進んでいきたい、活動を続けて参りたいと考えております。

2030 年までの人類の決断行動が地球の将来を決める運命の時が、「今」と言われています。目の前の出来事だけでなく、世界のどこかで苦しむ人々にも心を寄せ、一人も取り残されることがない世界の実現のため、心をつなげて、前に進んで参りましょう。

今後も会員の皆様方の変わらぬご支援をお願い申し上げます。

2020年11月ホームページ完成



ケア・サポーターズクラブ佐賀 で見て下さい!!

URL: <https://caresp-saga.com/>

2021年5月22日オンライン活動報告会

- ケア本部、ケア支援組織とのオンライン活動、支援所属会員限定のケア本部の活動報告会

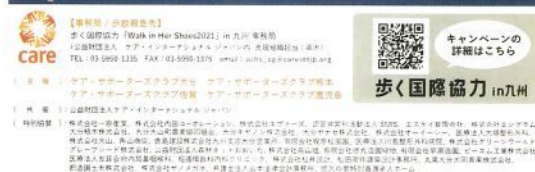
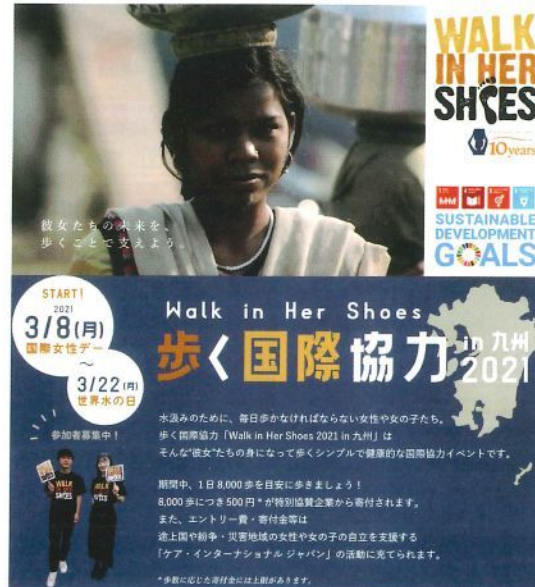
2021年6月21日オンライン活動報告会

- ケア本部、ケア支援組織とのオンライン活動
- 歩く国際協力「Walk in Her Shoes in 九州」の次年度事業の実施の可否について
- (当クラブの参加者：3名)

Walk in Her shoes 2021 in 九州

歩く国際協力 2021年3月8日～22日

コロナ禍の中でも一人ででも出来る、ボランティア活動を行いました。(当クラブの参加者3名)



役員紹介



会長
中川原 三和子

顧問 指山様を偲び、私たちの思いと決意をお届けいたします。



理事
木下 晴美

指山顧問の訃報の知らせを受けました。数日前にある会でお見かけし、お元気そうに雨の中を車に向かってその後ろ姿が別れになってしまいました。ケア・サポーターズクラブ佐賀では大変お世話になりました。狭い世界のムードにとらわれていないか不安がある中、アドバイスいただけるのが、心強かったです。この会がここまで歩んでこられたことに感謝いたします。今後不安ばかりですが お見守りください。ご冥福をお祈り申し上げます。



監事
赤 司 邦 昭

唯々、びっくりしました。最後にお会いしたのは、昨年の夏、総会の議案を事前に持参し自宅に伺った時でした。その時はケアの規程改正内容が検討不十分で、より厳しい記載を求められ、そのあと奥さんが運んでくれた冷たい物と一緒に食したと、さらに、帰るとき夫妻、玄関前まで道の安全を確認し見送って頂いたことを鮮明に覚えております。指山さんの優しさと厳しさの一部垣間見ることができました。また、毎会報誌の挨拶文には歴史はじめる幅広い知識を貸出され、私たちは辞書などを持ち出し右往左往その読み、内容を確かめ、知識が増えたことを喜んだものです。これからは知恵を出し合い、会の充実に努力致します。



副会長
安 永 恵 子

「いつもニコニコと笑顔でたたえ、私たちの活動を見守ってくださっていた指山様。私たちのやりたいことを尊重して下さり、困ったときにはさりげなく方向を示してくださるなど、優しさに溢れた方でした。指山様という大きな羅針盤を失くし、不安で堪りませんが、指山様の思いを胸に歩みを進めたいと思います。



理事
田口 香 津 子

「実るほど首を垂れる稲穂かな」顧問の指山弘養様は、凄く経歴の方で尊敬を多く集めておられる人物と伺っていましたが、会合では、穏やかで優しく、発言には場を和ますユーモアと深い知恵に裏付けられた重みがありでした。実る稲穂のごとき大人物でした。ご縁に感謝し、ご冥福をお祈りいたします。



事務局長
齊 藤 美 代 子

見識深く、温厚で慈愛に満ちた微笑みを私達へ常に投げかけて頂き、迷いながらの会運営にも何がしか私たちに自信を持たせて頂き、今迄運営が出来てきました！心より感謝の言葉しかありません！これからは今迄の教えを復唱しつつ、会員様はじめ役員一同運営に生かさせて頂きます。有難うございました。

2022 年度事業計画 2021年7月～2022年6月

- 7 月 佐賀県ふるさと納税（寄付金）の返礼品の選定開始
- 8 月 書面による定例総会 準備と発送
2021 年度事業報告 2021 年度決算 及び 監査報告
2022 年度事業計画（案）2022 年度予算（案）
- 9 月以降
 - ふるさと納税（寄付金）の返礼品を決定、佐賀県へ書類提出
 - ふるさと納税（寄付金）を活用した「女性自立支援事業」の検討、実施
 - ・女性活動団体等への助成
 - ・将来、看護師などの医療従事者等を目指す学生への助成
 - ・その他
 - WEB 会議（オンライン会議）による総会や講演会等の検討
 - ホームページのリニューアル（ふるさと納税（寄付金）の返礼品含む）
 - 歩く国際協力の第2回目の「Walk in Her Shoes 2022 in 九州」の共催
 - ケア・ジャパンへの活動協力
 - 会報誌の発行
 - 次年度（2023 年度）、5 周年記念事業の検討
 - その他

なお、事業実施に際しては、事前に会員の皆様にご意見を伺う所存です。

今年度の事業計画等について

- 昨年から続く新型コロナウイルス感染の拡大は第5波に及び、その対策による活動の自粛要請が求められている状況下、昨年度に引き続き皆様に諮るための具体的計画の立案が見込めません。特に今年度は当団体の節目となる設立5周年を迎えますが記念する事業実施も断念し、次年度（2023）へと先延ばししました。今年度は、まずは今日の状況を考慮してオンラインによる総会、講演など会員の皆様が参加できるようなシステムを検討、実施していきたいと考えております。
- また、ふるさと納税（寄付金）が稼働いたしましたので、地元佐賀における活動を推進していきたいと考えております。今後、社会状況が好転した場合には皆様方にできるだけ早く具体的な事業計画（案）を示しご意見を伺いたいと考えております。

(公財)ケア・インターナショナル ジャパンの世界への活動・支援 状況をご報告します。



ケア・サポーターズクラブ佐賀

活動記録

- 令和2年6月 臨時総会(書面決議) 佐賀県ふるさと納税(寄付金)の指定団体申込みについて
- 令和2年8月 ホームページ作成準備委員会設置
- 令和2年9月 定例総会(書面決議)
- 令和2年11月 ホームページ完成 (URL: <https://caresp-saga.com/>)
- 令和2年12月 佐賀県ふるさと納税(寄付金)の92番目の指定団体となり、県のホームページ及び「ふるさとチョイス」に掲載
- 令和2年12月 会報誌(第4号)発行
- 令和3年2月10日 於事務局 会員へ前期総会資料を発送・打合
- 令和3年3月5日 於事務局 歩く国際協力「Walk in Her shoes 2021 in 九州」打合
- 令和3年3月8日～22日(15日間) 「Walk in Her shoes 2021 in 九州」の実施 主催九州4県 ケア・サポーターズクラブ
- 令和3年5月22日 ケア本部、ケア支援組織とのオンライン活動、支援所属会員限定のケア本部の活動報告会
- 令和3年5月31日 顧問指山様逝去 会長・事務局長で自宅へ弔問
- 令和3年6月21日 ケア本部、ケア支援組織とのオンライン活動 歩く国際協力「Walk in Her Shoes in 九州」の次年度事業の実施の可否について (当クラブの参加者：3名)
- 令和3年6月28日 於事務局 決算準備 他
- 令和3年7月4日 於ホテルニューオータニ佐賀 理事会・ふるさと納税(寄付金)の進捗状況等 ・2022 年度事業計画等について報告及び打合せ